

製品名: Hsp90 α/β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00057**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 85 kDa; Observed MW: 90 kDa

抗原情報

遺伝子名	HSP90AA1/HSP90AB1 HSP90AA1; HSP90A; HSPC1; HSPCA; Heat shock protein HSP 90-alpha; Heat shock 86 kDa;
別名	HSP 86; HSP86; Renal carcinoma antigen NY-REN-38; HSP90AB1; HSP90B; HSPC2; HSPCB; Heat shock protein HSP 90-beta; HSP 90; Heat shock 84 kDa; HSP 84; HSP84
遺伝子 ID	3320/3326
SwissProt ID	P07900/P08238
免疫原	-

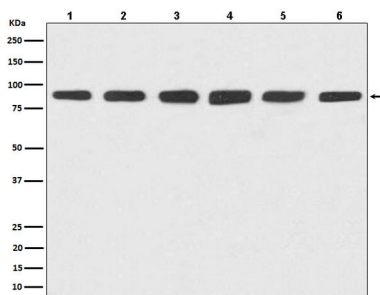
背景

細胞周期制御やシグナル伝達などに関与する特定の標的タンパク質の成熟、構造維持、適切な制御を促進する分子シャペロン。ATPase 活性と関連した機能サイクルを経る。このサイクルは標的タンパク質の構造変化を誘導し、活性化を引き起こすと考えられている。

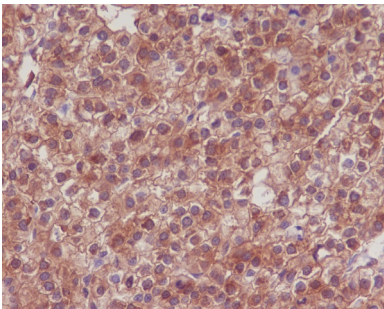
研究分野

シグナル伝達

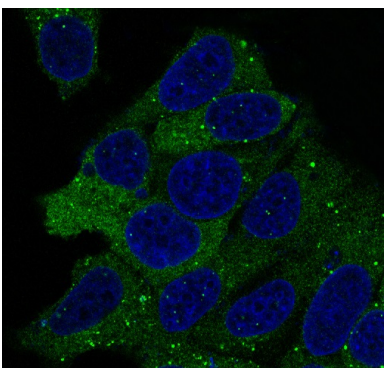
画像データ



(1) HeLa 溶解物、(2) Jurkat 溶解物、(3) RAW264.7 溶解物、(4) NIH/3T3 溶解物、(5) PC-12 溶解物、(6) C6 溶解物における Hsp90 α/β 抗体を用いた Hsp90 のウエスタンブロット分析。



Hsp90 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



Hsp90 抗体を使用した HeLa 内の Hsp90 アルファ/ベータの免疫蛍光分析。